

# 美術館だより

## 企画展案内

### ホルスト・ヤンセン展

会期 7月13日～8月11日

会場 県立美術館



▲花咲く芥子 Blooming Poppy 1990

#### (観覧料)

一般・大学生 720円(560円)

高校生 510円(410円)

小・中学生 360円(250円)

※( )内は20名以上の団体料金

#### (休館日)

毎週月曜日

1929年生まれのホルスト・ヤンセンは、現在ドイツのハンブルクに住み、旺盛な制作活動を展開している戦後ヨーロッパを代表する画家の一人です。美術上の運動に関心を持たず、水彩や素描、版画などにその制作手段を限定し個性的な世界を守り続けてきたヤンセンは、「デューラー以来の素描の巨匠」として世評を高めています。

卓抜した技量で描かれた線描の世界は、躍動と生氣と即興性にみちていて、彼が深い敬意の念を抱いている日本の葛飾北斎を彷彿させています。主題は、散歩の道すがら眺めた風景にはじまり、枯れた植物、愛情と皮肉を持って見られる歓楽街の庶民、そしてまるでそのときどきの自己の証とでもいうように日付入りで描かれた数多くの自画像というように、きわめて多様なもので、そこには不安に満ちながらも素晴らしい人生との情熱的な対話が繰り広げられています。

ときには、一日のうちに数十点を制作するという驚異的な創造力の高揚のなかで生まれた作品群のなかから、本展では、ヤンセン自身の協力を得て、本人所蔵のコレクションを含めた代表作、水彩、素描、版画約300点を厳選し、この特異な光芒を放つ現代の「画狂人」の全貌を紹介いたします。



▲わたし自身 Self 1988



▲イセエビ Lobster 1990